

平成28年度 防衛大学校への科学技術等研究助成寄附の公募

本会は、平成25年4月1日、防衛大学校における科学技術その他の学術（以下「科学技術等」という。）に関する研究に対する助成、科学技術等の奨励及び教育訓練に対する援助・助成を行うとともに、防衛問題研究者の資質向上のための援助・助成を行い、もって、我が国の防衛基盤の育成強化に寄与することを目的として、設立されました。

なお、本会の全身である財団法人防衛大学校学術・教育振興会は昭和62年8月に設立されています。

本件は、本会の事業の一環として、防衛大学校が実施している学術研究の充実・発展を図るため、広く各方面から研究助成寄附金を公募するものであります。対象となる学術分野は第3項のとおりであります。

1 防衛大学校の概要

防衛大学校は、昭和27年8月に、将来、陸上・海上・航空の各自衛隊の幹部自衛官となるべき者を、4年間の修業期間において教育訓練する、防衛庁（当時）の施設機関として設立されました。

防衛大学校の教育目標は、「広い視野を開き、科学的な思考力を養い、豊かな人間性を培うとともに、幹部自衛官にふさわしい精神、体力基盤及び生活習慣を育成すること」にあります。

自衛隊の大規模災害における活動や国際平和協力業務への関わり合い、また、不安要因を抱えた世界情勢などを考えますと、柔軟かつ敏速に対応しうる、よりすぐれた幹部自衛官が待望され、防衛大学校の教育能力の向上が一層期待されています。

2 防衛大学校の構成

防衛大学校では、自衛隊の幅広い職種を考慮に入れ、本科においては、特定の分野に偏ることなく基礎教育、総合教育、外国語教育、体育教育、専門教育に関する均衡のとれた教育を行っております。

教育目的や学問的共通性に従って区分された6学群（総合教育学群、人文社会科学群、応用科学群、電気情報学群、システム工学群、防衛学教育学群）による、基礎教育、専門教育及び防衛学教育に係る教育責任体制により、教育の充実及び効率化、教官組織運営の円滑を図っております。

なお、防衛大学校には、現在、教養教育センター、国際交流センター、グローバルセキュリティセンターの3つのセンターがあり、学校運営を学祭的に支援しております。

3 研究助成寄附金公募対象分野

(1) 基礎教育等

総合教育学群は、外国語教育室、体育学教育室及び数学教育室から構成され、基礎教育、総合教育、外国語教育、体育教育、専門基礎教育を行っております。

ア 外国語

英語

イ 体育学

体育理論、健康とスポーツ医科学

ウ 数学

線形代数学、微積分学、複素関数論、ベクトル解析、確率・統計

(2) 人社系専門教育

人文社会科学群は、人間文化学科、公共政策学科及び国際関係学科から構成され、国際平和

維持活動への参加等自衛隊の任務の国際化・多様化に対応するため、地域文化、実践的な語学力やこれを通じた異文化コミュニケーション能力を修得させるための教育を行っております。

ア 人間文化学科

文化人類学、日本語・文化論、ヨーロッパ言語・文化論、アメリカ言語・文化論、イスラム言語・文化論、言語コミュニケーション論、歴史地理研究、近代史研究、比較文化論、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語

イ 公共政策学科

安全保障法制、経済学、国際経済学、法学

ウ 国際関係学科

国際政治学、国際政治史、国際法、軍事史、現代地域研究、国際関係研究

(3) 理工系専門教育

応用科学群、電気情報学群、システム工学群の3つの学群により、以下の分野の学術研究を行っております。

ア 応用科学群

応用物理学、応用化学及び地球海洋学科から構成されており、物理、化学、球に関する学術研究を行っております。

① 応用物理学の研究分野

熱力学、力学、計測学、電磁気学、量子力学、光科学、音響学、結晶学、光エレクトロニクス、熱科学、超伝導物性、原子核物理、材料力学、電子情報工学、放射線計測、人間情報工学、レーザー応用、半導体物性、弾道学

② 応用化学の研究分野

無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、高分子化学、反応化学、燃料化学、火薬学、生物化学、触媒化学、放射化学、有機合成論、化学熱力学、環境分析化学、遺伝子工学、防災化学、応用電気化学、

③ 地球海洋学科の研究分野

熱力学、流体力学、応用電磁気学、海洋学、気象学、地圏科学、天文学、振動波動学、リモートセンシング、地球流体力学、信号解析、地球惑星科学、大気科学、環境地球科学、航空気象学、海洋物理学、海洋音響工学、ソナー工学、気候学、宇宙物理学

イ 電気情報学群

電気電子工学科、通信工学科、情報工学科及び機能材料工学科から構成されており、情報化、機器の高性能化・知能化等に関する学術研究を行っております。

① 電気電子工学科

電気磁気学、電気回路、電子理論、電気計測、電子物性、制御工学、電子回路、エネルギー工学、コンピュータ、電子デバイス、光エレクトロニクス、電波工学、システム工学

② 通信工学科

電気磁気学、電気回路、電子理論、電子回路、通信工学、光波工学、電波工学、光通信工学、コンピュータ、情報理論、光情報通信ネットワーク、通信伝送工学、レーダ工学、波動工学、電波航法工学、デジタル信号処理

③情報工学科

電子回路、情報工学、ソフトウェア、情報数学、オペレーションズ・リサーチ、情報理論、人工知能、メディア情報論、信号処理、コンピュータ制御、コンピュータネットワーク、ロボティクス、

④機能材料工学科

材料量子論、材料熱力学、材料力学、材料物理学、材料組織学、材料計測学、材料強度学、高分子・無機・金属・電子等各種材料、

ウ システム工学群

機械工学科、機械システム工学科、航空宇宙工学科及び建設環境工学科から構成されており、機械構造、機械システム、航空工学、土木工学に関する学術研究を行っております

①機械工学科

熱力学、流体力学、機械材料、機械力学、制御工学、計測工学、加工学、伝熱工学、材料強度、自動車工学、精密工学、システム制御、熱機関、微細加工

②機械システム工学科

熱力学、流体力学、機械力学、制御工学、機械材料、機械工作、内燃機関、構造材料、計測工学、船舶工学、ガスタービン、精密加工、ロボット・メカトロニクス

③航空宇宙工

航空流体力学、航空熱力学、航空材料力学、空気力学、航空原動機、航空機構造力学、航空機力学、高速空気力学、宇宙航行論、航空制御工学、ヘリコプター工学、ロケット工学、航空飛翔体構造、飛翔体誘導論、飛行制御システム、飛行力学

④建設環境工学科

測量学、材料力学、流体力学、構造力学、水理学、コンクリート材料工学、土質力学、鉄筋コンクリート工学、建設環境工学、鋼構造学、振動・耐震工学、海岸工学、防災構造学、河川工学、環境衛生工学、基礎工学、交通工学、建設施工学、防災工学、建築工学、環境地盤工学

(4) 防衛学

軍事を中心として安全保障、防衛、戦争、戦略、軍隊、軍人と社会の関係などを主たる対象とする学問です。また、人文・社会科学、理工系などの幅広い分野の理論的根拠を基礎とし、それらを応用して実践に結びつける総合的・学際的な学問でもあります。

4 応募申請の方法

(1) 研究助成寄附金の受付けは、(財)防衛大学校学術・教育振興会が行います。

(2) 研究助成寄附金の申込み書類は次のとおりであり、申請書は当財団の事務局に申請書用紙を請求してください。

① 研究助成寄附金申込書

② その他公益財団法人防衛大学校学術・振興会が定める書類

宛先：〒160-0003 東京都新宿区本塩町21番地 松原ビル2階

公益財団法人 防衛大学校学術・教育振興会

TEL 03-3353-9871 FAX 03-3353-9872

研究助成寄附金申込書

平成 年 月 日

公益財団法人 防衛大学校学術・教育振興会
理事長 西原 正 様

公益財団法人防衛大学校学術・教育振興会の設立趣旨に賛同し、下記の研究分野に関して研究助成寄附を申し込みます。

1 指定研究分野

2 寄附を目的とする研究の内容

3 寄附申込額 円

4 申込者
所在地 〒

法人名

代表者名 印

窓口担当者の連絡先

住所及び電話番号

氏名